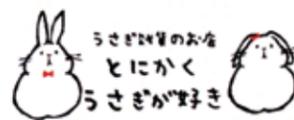




「創の実」でのチャレンジをきっかけに あこがれのうさぎ雑貨店を開業

うさぎ雑貨のお店

とにかくうさぎが好き



中道通り商店会（武蔵野市）

活用した事業

- ・東京都チャレンジショップ「創の実」吉祥寺出店
- ・商店街起業促進サポート（商店街開業プログラム）
- ・商人大学校 ・店主スキルアップ事業

access



武蔵野市吉祥寺本町 4-14-15 スワンハイツ 101

✉emi.balance@star.ocn.ne.jp

https://tonikakuusagigasuki.com



店主の飯田絵美さんは、うさぎが大好きで自らも3羽のうさぎを飼っている。店内にはおよそ1,100アイテムのうさぎグッズが並ぶ。



キャラクター商品は扱わず、うさぎ好きが共感するグッズがたくさん。

チャレンジショップ「創の実」への応募が すべての始まりだった

吉祥寺のおしゃれな商店街に面した、うさぎモチーフの雑貨店「とにかくうさぎが好き」。店内は足元から天井まで、うさぎグッズでぎっしり。

うさぎ好きが高じ、「いつか、生まれ育った吉祥寺で、うさぎ雑貨専門店のお店を開きたい」という夢を持っていた店主の飯田絵美さん。ある日、夫の信悟さんから、吉祥寺にある東京都チャレンジショップ「創の実」で出店者の募集をしているので、「やってみたら」と勧められた。思い切って応募したところ見事にが出店が決定、開業のきっかけをつかんだ。「本当にいいタイミングでした。雑貨屋で働いた経験はなく知識もなかったの、やりたいと思っても何から手を付けていいのかわからなかった。身ひとつで飛び込んだけれど、周りの方が順序立ててサポートしてくれたので、心強かったです」と絵美さんは語る。

公社の支援事業を活用し 開業・運営のノウハウを取得

絵美さんのチャレンジショップ「創の実」での出店の傍ら、夫の信悟さんは「商店街起業促進サポート事業」を受講、店舗開業に向けてビジネスプランの策定支援を受けた。「開業は未経験。自分の知識



うさぎのぬいぐるみは、ロングセラーの人気商品。もちもちふわふわの触感がたまらない！とファンも多い。



商品を製作する作家とのつながりも重なり、入り口では大きなうさぎの看板がお出迎え。店は作家を応援する場でもある。ワクワク感を高めてくれる。

や経験とすり合わせながら、店舗経営の全体像を知りたいと思い受講しました」。絵美さんと二人三脚で、開業・運営のノウハウを学び、1年後に「創の実」を卒業、吉祥寺に店舗を開業した。

絵美さんは、「店主スキルアップ事業」を活用して、専門家から主に店舗のディスプレイについて助言を受けた。「什器の選び方や、棚割、商品の並べ方、店内の動線など多くのアドバイスを受けてきました。『商品のうさぎとお客様の目が合うように並べるとよい』など、購買意欲をかき立てるような仕掛けも教えていただけて、なるほどなと思いました」。細かいところまで行き届いたアドバイスが大きな助けになった。

信悟さんは、「商人大学校」の講座を受講し、小売店の経営に役立つ事柄を実践的なセミナーで学んだ。「インボイス制度など、知らなかったことを学べたのはよかった。講座では他の受講者と話す機会もあるので、自分の考えの整理ができましたし、異なる視点の意見が聞けるのも参考になりました」と言う。

開業1周年を迎え さらなるステップアップを目指す

公社の事業を活用したことで「やらざるを得ない状況になって」（信悟さん）、「船に乗ったからには漕がなきゃいけない」（絵美さん）と笑い合うご夫妻。二人で協力して経営する店舗は、無事1周年を迎えた。「チャレンジショップ『創の実』の出店が決まってから、1週間ほどで店のロゴを考えるなど、期限内にタスクをこなすことで、あれよあれよと夢が叶いました。やりたいことがあるなら公社の支援を活用しない手はないです」と絵美さん。今後は、うさぎ好きが集ってお茶を飲んだり本を読んだり、情報交換ができる憩いの場をつくりたい、と夢は大きく広がっている。